



社団法人 日本病理学会
〒113-0033
東京都文京区本郷 2-40-9
ニュー赤門ビル 4F
TEL: 03-5684-6886
FAX: 03-5684-6936
E-mail jsp@ma.kcom.ne.jp
http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 207 号

平成 17 年 (2005 年) 4 月刊

1. 診断病理編集長の選出について

公募による診断病理編集長(平成 17 年 3 月末に任期満了)候補者には、2 名の応募・推薦者があった。2 月 21 日の理事会において、協議の結果、坂本穆彦現編集長(再任)に決定した。なお、任期は再任のため平成 19 年 4 月からの 2 年間である。

2. 各種委員会委員の選出について

平成 17 年 4 月 1 日から新たに就任の常置委員会学術評議員新委員については、2 月 21 日の理事会において、それぞれ以下のとおり決定した。

なお、()内の委員は、今年度も引続いて任期中の委員です。

- (1) 学術委員会; 落合淳志(国立がんセンター), 坂元亨宇(慶応義塾大学), 山本哲郎(熊本大学)
(任期中; 広橋説雄, 向井 清, 能勢真人)
- (2) 研究推進委員会; 中山 淳(信州大学), 笹栗靖之(産業医科大学)
(任期中; 石倉 宏, 能勢真人, 佐藤昇志, 高松哲郎)
- (3) 病理専門医制度運営委員会; 橋本 洋(再任), 清水道生(再任), 田村浩一(再任)
(任期中; 深山正久, 石黒信吾, 森永正二郎, 下田忠和, 手塚文明)
- (4) 医療業務委員会; 廣川満良(徳島大学), 湊 宏(金沢大学), 大橋健一(虎の門病院)
(任期中; 野島孝之, 清水道生)
- (5) 口腔病理専門医制度運営委員会; 井上 孝(東京歯科大学), 出雲俊之(埼玉県立がんセンター), 小宮山一雄(再任)
(任期中; 朔 敬, 高田 隆, 山口 朗)
- (6) 教育委員会; 中島 孝(再任)
(任期中; 佐々木功典, 清水道生, 竹下盛重, 田村浩一)
- (7) 国際交流委員会; 荒川 敦(順天堂大学)
(任期中; 福永真治, 三上芳喜, 長嶋洋治, 梅村しのぶ)

3. 常任理事会報告(平成 17 年 1 月~3 月)

◎第 9 回(平成 17 年 1 月 18 日(木))

1. 医療関連死モデル事業の病理側からの協力が可能である申出のあった大学・病院とその責任者を確認した。
2. 次期役員選挙の実施計画を作成することにした。
3. 長期ビジョンに立ったドイツ病理学会との新規事業を策定するために、笹野国際交流委員長の訪独を視野に入れることにした。
4. 「第 2 回日本病理学会カンファレンス(2005 道後)」の企画書を広報することにした。
5. 各種委員会委員長から、交代する委員に代わる候補者リストをもらうことにした。
6. 「診断病理体制専門委員会 II」の委員には、水口國雄(委員長), 羽山忠良, 小松明男, 大橋健一, 嶋田裕之, 田村浩一, 安田政実の各氏を選出した。なお、オブザーバーとして森理事長, 長村病理専門医部会長, 黒田医療業務委員長が参画する予定。
7. 医療業務委員会は、「日本病理学会認定病院の認定(更新を含む)にあたり、従来の条件のほかに精度管理体制を加味すること」を検討していることの報告があり、これを了承した。
8. 医療業務委員会で作成した「現在における剖検費の試算について」を広報することにした。
9. 2 月 25 日に開かれる外科関連学会協議会(今回のテーマは、患者プライバシーの保護を中心に)への出席を、井藤倫理委員長と堤 寛同委員に依頼することにした。

◎第 10 回(平成 17 年 2 月 8 日(水))

1. 平成 17 年度新規追加事業計画として、近畿・中部地区での「市民公開講座」の開催を了承した。
2. 坂本常任理事より、「1 月 28 日、日本医学会用語委員会が開かれた。「日本医学会用語辞典」の改訂に関する今後の方針の検討、「標準病名集(厚労省, 日本医学会監修)」の改訂作業の進捗状況等」について報告があった。
3. 次期役員選挙の方法, 日程(案)等の実施計画概要(案)を作成した。

4. ドイツ病理学会より、“2005年度(平成17年度)において、日本病理学会会員の留学生(研究員)経費として新たに20,000ユーロの提供(第2回目)を行う”旨の提案を受けた。基本的には受託する方向で考え、国際交流委員会で長期ビジョンに立った事業計画策定の中で対処してもらうことにした。
5. 公募した診断病理編集長の選出は、複数の応募者があった。理事会で決めることを確認した。
6. 岡田学術委員長より、“学術奨励賞選考委員長は、恒吉理事が同委員会委員の互選により選出された”との報告があった。
7. 各種委員会学術評議員委員の今年度末の任期満了に伴う交替候補者は、関係委員長より提出のあった候補者を理事会に諮り、決定することで了承した。
8. 学術・研究推進合同委員会で、「A演説」は、顕彰をこめた呼称とすることに改め、「学術研究賞(A演説)」とし、遡って適用できることを決めた。常任理事会としてこれを了承し、理事会に諮ることにした。また、日本病理学会各賞の英文表記を整理した。
9. 長村常任理事より、“「病理研修指導医」の新設について、秋までには制度化できるように検討を進めている”との報告があった。
10. 「病院における検体検査業務の受託要件の緩和(案)」に関する厚労省医政局総務課へのパブリックコメントの要請に対して、本学会として意見を述べることにした。
11. 国立がんセンター企画室より、「がん診療の専門医の均てん化」に関して、本学会の対応について問合せがあった。支部委員会、地域病理ネットワーク委員会等で検討することにした。
12. 新名誉会員候補者の問い合わせに対する中間回答結果(現在、51名の同意)の確認を行った。
13. 新学術評議員候補者名簿(45名)の確認を行った。
14. 次期IAP日本支部学術奨励賞選考委員に坂本亨宇委員(継続)を推薦した。
15. 根本則道理事より、“「剖検輯報」の診断コード体系は、ICD-O-10がベースであるが、厚労省の2006年からの2次医療圏がん診療拠点病院からの登録に用いるコード体系がICD-O-3となるため、その対応を行うことにしている”との報告があった。
16. 澤井高志理事より、“「光ファイバーを用いた動画によるテレパソロジー；動画による遠隔地からの病気診断は実用的」の発表内容が新聞等に公表された”との報告があった。

◎第11回(平成17年3月15日(火))

1. 本学会における医療関連死の扱いは、司法解剖、行政

解剖には踏み込まないことにする方向で対処することにした。

2. 次期役員選挙の実施にあたり、選挙管理委員会委員に原正道(横浜市立大学)、黒住昌史(埼玉県立がんセンター)、松本俊治(順天堂大学)、太田秀一(昭和大学)、田久保海誉(東京都老人総合研究所)の5名の会員を選考し、理事会に報告、了承を得ることにした。
また、被選挙人名簿を作成することを理事会から求められたので、これを受けて作成する方向で思案した。これを作成する場合、現段階の選択肢として、①全対象者の名簿作成、②拘束名簿方式とし、候補者リストには自薦、他薦(1名でも該当)を受付けて作成、③拘束名簿方式とし、候補者リストには自薦(立候補制)のみを作成、④その他(名簿を作成しない等)が考えられるので、この点について検討した。審議過程で立候補制を採用したいとする意見が多かった。理事会で最終決定することになるが、事前に各理事の意見を問うことにした。
3. 理事長より、“倫理委員会は、「病理検体の保管・管理・利用」に関して、本学会としての見解をまとめ、併せて外科関連学会の共同見解の決定に向けて審議し、公表するよう進めている”との報告があった。
4. 本学会の資産は、最も確実かつ有利な方法により管理する必要があるが、ペイ・オフの実施に伴う対策として当面の方向として無利子預金に換え、関係委員会で国債の購入等を検討することにした。
5. 「病理検査技師との関係に関する小委員会」(中島委員長)の審議・提案内容に関して、今後、各支部でも検討してもらうことにした。
6. 総会のあり方については、種々検討してきたがここで一区切りとして岡田委員長案を提示の上、関係各委員と意見交換を行い、次回にはこの結果が提案できるように進めることを申合せた。
次期理事会、学術評議員会では、進捗状況を説明することとし、今後の審議等の年間スケジュールを策定することにした。
7. A演説が学術研究賞(A演説)に改題されたが、適用の時期を考慮して関係規定の制定については、今秋の総会時までには提案できるように検討することにした。
8. 「病理専門医の研修細目」は、病理専門医制度運営委員会の議決を経てホームページに掲載することにした。
9. 個人情報保護法が4月から全面的に施行されるので、本学会に係る個人情報に関するプライバシーポリシーの保護対策をさらに検討することにした。
10. 3月7日に外保連打合せ会が開かれ、診療報酬点数表および関連通知等の項目点検に関する留意事項を検討した。本学会は、このことについて、5月13日に厚労省

保険局医療課に説明することになっている。

11. 松本俊治（順天堂大学）会員より，第4回海外派遣報告があったので，広報することにした。
12. 学術評議員会・病理専門医部会並びに全国病院病理部連絡会議の議題設定を行った。

お知らせ

1. 第31回レーザー顕微鏡研究会講演会並びにワークショップについて

会 期：平成17年6月29日～7月1日
 会 場：理化学研究所（和光市）
 連絡先：レーザー顕微鏡研究会事務局（総務：川田善正）
 静岡大学工学部機械工学科
 〒432-8561 浜松市城北3-5-1
 TEL 053-478-1069 FAX 053-471-1128
 E-mail：kawata@eng.shizuoka.ac.jp

2. 第22回（平成17年度）持田記念学術賞受賞候補者の推薦等の募集について

- (1) 持田記念学術賞受賞候補者の推薦募集
 申込み締切り：平成17年7月31日
 - (2) 第22回（平成17年度）留学補助金交付対象者の募集
 申込み締切り：平成17年6月30日
 - (3) 第23回（平成17年度）研究助成金交付対象者の募集
 申込み締切り：平成17年6月30日
- (1)，(2) 及び (3) 共通
 連絡先：（財）持田記念医学薬学振興財団 事務局
 〒160-0003 新宿区本塩町7-6
 TEL 03-3358-7211 FAX 03-3357-1264
 E-mail：zaidan@mochida.co.jp

3. 2006年度（平成18年度）藤原セミナーの募集について

申込み締切り：平成17年7月31日
 連絡先：（財）藤原科学財団事務局
 〒104-0061 中央区銀座3-7-12
 王子不動産銀座ビル
 TEL 03-3561-7736 FAX 03-3561-7860

4. 第37回（2005年度）内藤記念科学振興賞・海外学者招へい助成金の受賞候補者の推薦について

申込み締切り：平成17年10月3日（ただし，海外学者招へい助成金 前期は，平成17年6月1日，後期は，平成16年10月3日）
 連絡先：（財）内藤記念科学振興財団事務局
 〒113-0033 文京区本郷3-42-6 NKDビル
 TEL 03-3813-3005 FAX 03-3811-2917
 E-mail：info.@naito-f.or.jp

5. 第6回東京びまん性肺疾患研究会について

会 期：平成17年10月8日
 会 場：笹川記念会館（東京・三田）
 連絡先：埼玉県立循環器呼吸器病センター病理科
 （統括責任者：川端美則）
 TEL 048-536-9900 FAX 048-536-9920
 E-mail：a1074836@pref.saitama.lg.jp

6. 第25回医療情報学連合大会について

会 期：平成17年11月24日～26日
 会 場：パシフィコ横浜
 連絡先：保健医療福祉情報システム工業会内
 第25回医療情報学連合大会事務局
 〒105-0001 港区虎ノ門1-19-9
 TEL 03-5501-3646 FAX 03-3506-8070
 E-mail：jcmi2005j@ahis.jp